

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	解剖学			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	解剖学②			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	解剖学③			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	解剖学④			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	解剖学⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	解剖学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖学⑥		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学②		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学③		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学④		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑤		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	生理学・病理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生理学・病理学⑥		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学②		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	運動学③		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分 野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマに おける 授業予定	運動学④			
第 17 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分 野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマに おける 授業予定	運動学⑤			
第 18 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマに おける 授業予定	運動学⑥			
第 19 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマに おける 授業予定	人間発達学・小児科学			
第 20 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分 野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマに おける 授業予定	人間発達学・小児科学②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学③		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学④		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑤		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	人間発達学・小児科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	人間発達学・小児科学⑥		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	内科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内科学⑥		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの解剖学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学②			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学③			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生理・病理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学④			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床神経医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床神経医学⑥		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの人間発達・小児科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学②		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学③		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの内科学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学④		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑤		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床神経医学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学⑥		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの臨床心理学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		